以前作成した文書より抜粋

研修にて考えさせられたこと

以前の研修で関西国際大学 准教授 中尾繁樹氏の講演を聞く機会に恵まれました。なぜ、このような話をするかというと、この講演で「なるほど・・・」「なっとく！」という話が多かったからです。ぜひ保護者のみなさんにそのエッセンスでもと思い2点ほど掲載します。

① よい姿勢がとれない現代っ子

現在の子どもはよい姿勢を保つことができないそうです。いわば、よい姿勢とはどんなことかわからない子どもが多いということです。さらに、20 代の若者は直立不動ということができないそうです。また、ゲームの時間やＰＣの時間が多い子どもや大人の姿勢は、お尻を前に背中を背もたれにたれるそうです。そういう目で〇〇小の子どもたちを見つめたら…たくさんいます。よく考えたら、私が今から 20 年前に教師になり初めて赴任した浜田市の小学校が「腰骨教育」の伝統校でした。当時は、「そんなの別に関係ない。」と思っていましたが、この話を聞いて思い出しました。「腰骨を伸ばす」はまさに現代の子どもたちに必要であり学習に集中できる環境づくりであると思いました。椅子の背もたれに持たれず腰の骨をそりかえし学習することが集中したよい学習環境となります。家でも声をかけてみたらいかがでしょう？蛇足ですが、子どもたちのよい姿勢作りにバランスボールがすごく有効だそうです。我が家も一つ購入して乗らせています。子どもははやいです。

② 正しい鉛筆の持ち方ができない現代っ子

もう一つの話題は正しい鉛筆の持ち方が現代の子どもたちはできないそうです。しかも持ち方で共通しているのは親指が前に出る子が多く、ついで親指が人差し指の内側に入る子だそうです。なぜ親指がそういう状態になるのかは、①のよい姿勢がとれないことと同じで親指でものをつまむ経験がないからなるそうです。そういう目で子どもたちを見つめたら…これもまた、ビンゴ。親指を前に出したり内側に入ったりしている子がたくさんいました。お子さんの鉛筆の持ち方はいかがでしょうか？最近、鉛筆の持ち方を矯正するグッズも売れています。今回私は、簡単なダブルクリップを使って矯正する方法を紹介します。↓↓

ＴＳマークについて

賠償責任の時代だという話を出しました。私もくわしく調べると、以下のような便利な制度があることを知りました。早速、自転車店にいって我が家の自転車にＴＳマークを付けてもらいました。以下のようになります。年間1000円の整備料で安心安全が買えるなんて安いと思いませんか？自転車店の方の話を聞くと、最近この保障を使う方が増えてきているとのことです。やはり、そういう時代なのです。

TSマーク保険の目的

・第一は、自転車利用者の間に定期的に自転車の点検・整備を受ける気運を醸成することにより、自転車安全整備制度(※)の促進を図ることです。

・第二は、自転車に係わる交通事故の被害者の救済に資することです

※自転車安全整備制度

自転車を利用する人の求めに応じて自転車安全整備店の自転車安全整備士が、自転車の点検・整備を行い、その自転車が道路交通法令等に定める安全な普通自転車であることを確認したときに、その証としてTSマーク(傷害保険・賠償責任保険付)を貼付するとともに、自転車の利用者に交通ルールや正しい乗り方等を指導することによって、自転車の安全利用と自転車事故の防止を図り、合わせて被害者の救済に資することを目的とするものです。

★年に1回、**自転車安全整備店**で、点検・整備を受けると、そのしるしとしてTSマークが自転車に貼付されます。左のマークのある**自転車安全整備店**で、点検・整備を受けて、TSマークを貼ってもらうと、保険が付帯されます。TSマークには賠償責任保険と傷害保険の2つがセットになった1年間の付帯保険が付いています。

★年齢に関係なく、どなたでも入れます。

	傷害保険		賠償責任保険
	死亡若しくは 重度後遺障害(1～4級)	入院(15日以上)	死亡若しくは重度後遺障害(1～7級)
青色TSマーク 	一律 30万円	一律 1万円	最高限度額 1，000万円
赤色TSマーク 	一律 100万円	一律 10万円	最高限度額 2，000万円